

商品名 アリピプラゾール錠3mg「JG」 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	アリピプラゾール錠
英名	Aripiprazole JG	剤型	錠
薬価	11.60	規格	3mg 1錠
メーカー	日本ジェネリック	毒劇区分	(劇)

アリピプラゾール錠3mg「JG」の効能・効果

統合失調症、双極性障害における躁症状の改善

アリピプラゾール錠3mg「JG」の使用制限等

1. 昏睡状態、中枢神経抑制剤の強い影響下、アドレナリン投与中＜アナフィラキシー救急治療・歯科浸潤又は伝達麻酔除く＞、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 糖尿病又はその既往、糖尿病の危険因子を有する	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	相対禁止
3. 糖尿病又はその既往、糖尿病の危険因子を有する、血清プロラクチン濃度が高い、誤嚥性肺炎のリスク、低血圧又はその恐れ・疑い、心・血管疾患又はその恐れ・疑い、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、糖尿病の家族歴、高血糖、肥満、脱水状態、長期臥床、不動状態、自殺企図の既往、自殺念慮、肝機能障害、高齢認知症、高齢認知症＜平均年齢82.4歳；56～99歳＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

アリピプラゾール錠3mg「JG」の副作用等

1. 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感、死亡、致命的経過	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 死亡、アナフィラキシー、低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状、無顆粒球症、深部静脈血栓症、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、息切れ、胸痛、四肢疼痛、浮腫、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、Al-P上昇、肝機能障害	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

3. 悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚔下困難、頻脈、血圧変動、発汗、発熱、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、高熱が持続、意識障害、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状、急性腎障害、遅発性ジスキネジア、口周部不随意運動、不随意運動、腸管麻痺、食欲不振、悪心、嘔吐、著しい便秘、腹部膨満、腹部弛緩、腸内容物うっ滞、麻痺性イレウス、横紋筋融解症、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、痙攣、白血球減少

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. 不眠、神経過敏、不安、傾眠、アカシジア、振戦、流涎、ALT上昇、CK上昇、体重増加

記載場所	その他の副作用
------	---------

5. 記憶障害、びくびく感、夢遊症、悪夢、衝動制御障害、病的賭博、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、性機能不全、吃音、運動過多、精神的機能障害、感覚障害、眉間反射異常、広場恐怖症、無感情、気分動揺、異常行動、下肢静止不能症候群、錐体外路症状、錐体外路障害、反射亢進、起立血圧異常、狭心症、肺炎、歯肉痛、舌障害、歯知覚過敏、血中甲状腺刺激ホルモン増加、卵巣障害、肝炎、黄疸、ケトン尿、尿失禁、過敏症、血管浮腫、蕁麻疹、薬物過敏症、皮膚真菌感染、脱毛、代謝異常、血中ブドウ糖変動、血中インスリン増加、嚔下性肺炎、上気道感染、呼吸困難、眼のチカチカ、糖尿病性白内障、瞬目過多、低体温、疼痛、顎痛、乳頭痛、乳腺炎、外陰陰乾燥、無オルガズム症、死亡、関節脱臼、歯牙破折、筋攣縮、尿路感染、花粉症、関節炎、関節硬直、筋萎縮、脂肪腫、坐骨神経痛、大脳動脈狭窄

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

6. めまい、頭痛、うつ病、幻覚、リビドー亢進、リビドー減退、昏迷、自殺企図、攻撃的反応、異常思考、拒食、独語、知覚減退、注意力障害、もやもや感、末梢神経障害、持続勃起、射精障害、勃起不全、失神、感情不安定、錯乱、神経症、妄想、譫妄、躁病反応、精神症状、双極性障害、認知症、健忘、嗜眠、睡眠障害、鎮静、舌麻痺、気力低下、激越、焦燥、興奮、パニック反応、片頭痛、顔面痙攣、錯感覚、寡動、歩行異常、ジストニア、筋緊張異常、ジスキネジア、構音障害、筋強剛、嚔下障害、からだのこわばり、筋緊張、口のもつれ、眼瞼下垂、パーキンソン症候群、眼球挙上、眼球回転発作、頻脈、高血圧、心悸亢進、徐脈、低血圧、起立性低血圧、心電図異常、期外収縮、QT延長、第一度房室ブロック、便秘、悪心、嘔吐、腹痛、下痢、食欲不振、食欲亢進、胃炎、びらん性胃炎、胃腸炎、腸炎、十二指腸炎、消化不良、口内炎、口唇炎、口唇腫脹、腹部膨満、胃食道逆流性疾患、歯周病、赤血球減少、白血球減少、白血球增多、好中球減少、好中球增多、好酸球減少、単球增多、リンパ球減少、リンパ球增多、ヘモグロビン低下、ヘマトクリット値低下、貧血、赤血球增多、好塩基球減少、好塩基球增多、好酸球增多、単球減少、血小板減少、血小板增多、ヘモグロビン上昇、ヘマトクリット値上昇、プロラクチン低下、月経異常、プロラクチン上昇、AST上昇、LDH上昇、γ-GTP上昇、Al-P上昇、脂肪肝、Al-P低下、LDH低下、総ビリルビン上昇、総ビリルビン低下、BUN上昇、BUN低下、蛋白尿、尿沈渣異常、クレアチニン上昇、尿糖、尿ウロビリノーゲン上昇、尿ビリルビン上昇、尿中NAG上昇、尿比重上昇、尿比重低下、血中尿素減少、血中尿酸減少、尿量減少、尿潜血、排尿障害、血尿、膀胱炎、尿閉、頻尿、多尿、発疹、光線過敏性反応、湿疹、紅斑、そう痒症、酒さ、ざ瘡、皮膚炎、皮膚乾燥、皮膚剥脱、乾皮症、皮膚色素沈着障害、脂漏、男性型多毛症、口渇、コレステロール低下、HDL-コレステロール上昇、トリグリセライド上昇、リン脂質低下、多飲症、高血糖、水中毒、高尿酸血症、高脂血症、脂質代謝障害、コレステロール上昇、HDL-コレステロール低下、トリグリセライド低下、CK低下、鼻炎、咽喉炎、気管支炎、気管支痙攣、咽喉頭症状、しゃっくり、鼻乾燥、霧視、眼乾燥、視力障害、眼調節障害、羞明、眼異常感、眼痛、体重減少、倦怠感、脱力感、発熱、多汗、総蛋白減少、グロブリン分画異常、ナトリウム低下、カリウム低下、クロール低下、疲労、ほてり、熱感、灼熱感、背部痛、四肢痛、関節痛、筋痛、頸部痛、肩こり、筋痙攣、悪寒、末梢冷感、性器出血、流産、胸痛、膿瘍、歯ぐしり、睡眠時驚愕、鼻出血、末梢性浮腫、挫傷、気分不良、味覚異常、耳鳴、寝汗、四肢不快感、薬剤離脱症候群、顔面浮腫、握力低下、転倒、総蛋白上昇、A/G上昇、A/G低下、アルブミン上昇、アルブミン低下、ナトリウム上昇、カリウム上昇、クロール上昇

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

7. 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、死亡	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 体重変動、体重増加、体重減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
10. 口渇、多飲、多尿、頻尿、多食、脱力感、病的賭博、持続的にギャンブルを繰り返す状態、病的性欲亢進、強迫性購買、暴食、衝動制御障害、月経過多、貧血、子宮内膜症、嚥下障害、一過性血圧降下、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性、離脱症状、錐体外路症状、流産、嗜眠、血圧上昇、頻脈、嘔吐、一過性意識消失、突然死、死亡、心不全、感染症、肺炎、脳血管障害、脳卒中、一過性脳虚血発作、死亡率上昇、乳腺腫瘍、下垂体腫瘍、副腎皮質腫瘍、胆のう内沈渣、胆のう内沈渣泥状、胆砂、胆石、肝臓に限局性肝結石症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

アリピプラゾール錠3mg「JG」の相互作用

1. 薬剤名等：アドレナリン

発現事象	作用を逆転させ血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β 受容体の刺激剤であり、本剤の α 受容体遮断作用により β 受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	禁止

2. 薬剤名等：降圧剤

発現事象	相互に降圧作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに降圧作用を有する	指示	慎重投与

3. 薬剤名等：抗コリン作用を有する薬剤

発現事象	抗コリン作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに抗コリン作用を有する	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：ドパミン作動薬

発現事象	ドパミン作動作用を減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤はドパミン受容体遮断作用を有する	指示	慎重投与

5. 薬剤名等：アドレナリン含有歯科麻酔剤

発現事象	血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β 受容体の刺激剤であり、本剤の α 受容体遮断作用により β 受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	中枢神経抑制作用	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

7. 薬剤名等：アルコール

発現事象	相互に中枢神経抑制作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

8. 薬剤名等：飲酒

発現事象	相互に中枢神経抑制作用を増強	投与条件	-
理由・原因	ともに中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

9. 薬剤名等：CYP2D6阻害作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP2D6を阻害するため本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

10. 薬剤名等：CYP3A4阻害作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4を阻害するため本剤の血中濃度が上昇	指示	注意

11. 薬剤名等：CYP3A4誘導作用を有する薬剤

発現事象	本剤の作用が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の主要代謝酵素であるCYP3A4の誘導により本剤の血中濃度が低下	指示	注意

